



おどろきとこだわりの ミュージアムグッズ展

ミュージアムの神髄、グッズがあなたを魅了します。

●会期：2016年4月23日(土)～6月5日(日)

*休館日 毎週月曜日 *開館時間 午前9時～午後5時

- 主 催：美濃加茂市民ミュージアム
- 企画協力：山下治子(『ミュゼ』編集長)
- 協 力：岐阜県博物館協会及び加盟館



みのかも文化の森
美濃加茂市民ミュージアム

ミュージアムグッズは、ミュージアムを語る。

かつては、ミュージアムのおみやげとして目立たない小さなショップで販売されることも多かった「ミュージアムグッズ」。しかし、近年ではミュージアムの規模や種類を問わず、遊びどころいっぱいのグッズが生まれ、ショップを賑わせるようになりました。

それらのグッズは、ミュージアムの展示の神髄を表すもの、館の活動やコンセプトを象徴化するもの、ミュージアムの楽しさを伝えてくれるものでもあります。まさに、「ここにしかないミュージアム」を豊かに表現しています。展覧会では、国内外の「おどろき」と「こだわり」のミュージアムグッズを展示します。

また、グッズの歴史や制作のエピソード、グッズを手にしたお客様の思いと共に紹介します。

ミュージアムグッズを通じて、人々の思いが交わり、関わり合えるような楽しい場になることを願っています。

●お知らせ

◎館内特設ミュージアムショップでは、展示されたグッズ（一部）を購入できます。

◎「企画展コラボメニュー」では、文化の森のカフェ「bee café」で、期間限定のデザートをご用意しています。文化の森のミュージアムグッズが、かわいく・美味しいデザートに大変身します。

◎「私の愛するグッズたち」では、来館者が、思い出のつまったミュージアムグッズを持ち寄り、期間中の会場に展示できます。

「思い出」をお聞きたいので、事前にお電話でお問い合わせください。
電話0574-28-1110



カニサイテーパーカッターほか

【みゅーじあむ・ぐずず】 広くはミュージアムのショップで販売されているものをさすもありますが、この展覧会では、ミュージアムで開発されたオリジナルグッズに注目しています。

そのグッズのもとになった作品や収蔵品の由来が記されたり、ミュージアムのコンセプトがデザイン化されたりしています。レプリカ、カード、衣類、文房具、知育玩具、食品、インテリア用品など、そのアイテムは多岐にわたっています。

※掲載の写真は、八戸市埋蔵文化財センター・是川縄文館、国立科学博物館、たばこ塩の博物館、東京国立博物館、根津美術館、目黒寄生虫館、美濃加茂市民ミュージアム、大阪市立自然史博物館、JT生命誌研究館、高知県立牧野植物園、沖縄県立博物館・美術館のオリジナルグッズです。(2016.3)

●関連イベント

*すべて当日受付(開始30分前より)

◎ミュージアムトーク&ワークショップ

5月15日(日曜)

解説・講師 山下治子さん(『ミューゼ』編集長)

午前11時-12時・トーク

会場:企画展示室 参加料:無料

午後1時30分-4時・ワークショップ

文化の森を探検してアイデアや素材を集め、グッズをつくってみましょう。

会場:文化の森陶芸室 参加料:300円 定員:16名(先着)



ネコギマグネット

◎展示解説

5月5日(木曜・祝) 午前11時-12時・午後1時-3時

解説 当館学芸員

気軽にお話しながら、グッズからそれぞれの博物館へ、ゆっくりと思いをはせてみましょう。グッズを使ってみたり、モチーフとなったホンモノの博物館資料をさわってみたりすることができます。

会場:企画展示室 参加料:無料

◎アートな1日講座「ミュージアムグッズ・火鉢でアート」

火鉢に模様や絵を付けて、私のため、あの人に贈る、オリジナルのミュージアムグッズを作りましょう。

5月22日(日曜) 午後1時-4時

会場:文化の森エントランスホール

参加料:900円 定員:20名(先着)

持ち物:エプロン、タオル



火鉢

●交通

鉄道 JR名古屋駅より美濃太田駅まで東海道本線・高山本線経由 特急「ひだ」で約40分、駅北口より徒歩約17分

自動車 東海環状自動車道美濃加茂ICより約5分、駐車場174台

あい愛バス JR美濃太田駅北口より乗車、「文化の森」下車(約8分)

平日/日本昭和村・富加線(1日3往復)

土日祝日/文化の森公園線(1日7往復)

運賃/一般200円 小中学生100円 未就学児無料

*詳しくは、美濃加茂市ホームページ

<http://www.city.minokamo.gifu.jp>をご覧ください。



みのかも文化の森

美濃加茂市民ミュージアム